

着衣水泳

5校時に1・2年生が着衣水泳を行いました。

水難・水害事故の多くは衣服を着ている状態で起こる事が多く、水辺での不慮の事故への対処方法として、毎年、全学年で行っています。

服を着たまま水の中に入ると、重くなりなかなか体を動かすことができないことを実感した後、体の力を抜いて何も持たずに浮いてみたり、ペットボトルをもって浮いたりする練習をしました。「からだのちからをぬいたらういたよ」「ペットボトルをもってるとうきやすい」と、新たな発見をしながら意欲的に取り組んでいました。

